

2014年4月1日

北大開示文書研究会

共同代表：清水裕二、殿平善彦

〒077-0032 北海道留萌市宮園町3-39-8 三浦忠雄方（事務局）

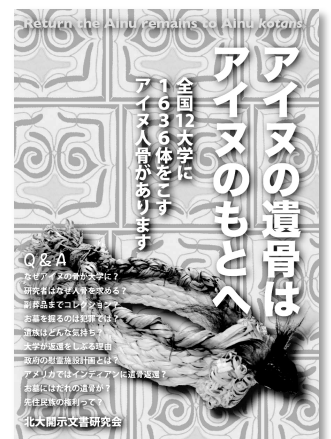
TEL (FAX) 0164-43-0128

<http://hmjk.world.coocan.jp/index.html>

パンフ「アイヌの遺骨はアイヌのもとへ」完成披露会のご案内

各位

いつもわたしたち北大開示文書研究会の活動にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。当研究会は、国内大学によるアイヌ人骨発掘収蔵問題の解決を目指して活動しているボランティアグループです。より多くの市民のみなさまに問題点を知っていただきたいと考え、このほど、パンフレット「アイヌの遺骨はアイヌのもとへ」を発行しました。パンフレットはA5判16ページ建て（フルカラー）。Q & A 式の記事の執筆には、清水裕二さん（少数民族懇談会会長）、榎森進さん（東北学院大学名誉教授、『アイヌ民族の歴史』著者）、植木哲也さん（苫小牧駒澤大学教授、『学問の暴力 アイヌの墓はなぜあばかれたか』著者）、殿平善彦さん（僧侶、『遺骨 語りかける命の痕跡』著者）、市川守弘さん（弁護士）ら、当研究会員が当たりました。定価は100円（送料別）です。当研究会は4月以降、パンフレット執筆者らを講師に「出前講座」を各地で開く計画です。つきましては、パンフレットの完成披露会を下記要領で開催します。ぜひ取材・報道いただきますよう、お願い申し上げます。



パンフレット「アイヌの遺骨はアイヌのもとへ」完成披露会

日時 2014年4月4日（金曜）午後3時30分

会場 札幌弁護士会館 5階 5B会議室 札幌市中央区北1西10

お問い合わせ 0164-43-0128（北大開示文書研究会事務局）

※同日午後2時より、札幌地裁でアイヌ遺骨返還訴訟（原告＝小川隆吉さんら、被告＝北海道大学）の口頭弁論が開かれ、原告の畠山敏さん（紋別アイヌ協会会長）が意見陳述します。ぜひ傍聴ください。上記のパンフレット完成披露会は弁論終了後に開催予定です。

このプレスリリースは道政記者クラブと北海道司法記者クラブにお届けしています。